

第3回書文協臨書展実施要項

多摩川上流・鶴の瀬溪谷（東京都青梅市沢井）に、日本寒山寺という無住の寺があります。昭和の初期、中国・江蘇省の著名な禅寺、寒山寺の希望を受けて、地元篤志家らが創建しました。寒山寺にある漢詩「楓橋夜泊」の碑文、鐘つき堂も蘇州と同じ姿であります。この臨書展は、隣国の文化を理解する格好の場所としてこの地を知っていただくことを願っています。また、中国の古典を書く臨書は書を学ぶ人の基本でもあります。どんどんご応募ください。

第3回臨書展は下記の通り臨書の部と楷書筆写の部に分かれます。漢詩「楓橋夜泊」は臨書の部の常設課題とします。

その上で、日本の教育漢字で育つ小学生も参加しやすくするために楷書筆写の部を設けました。この漢詩の中から教育漢字にある10文字を、書文協会長・大平恵理が手本として揮毫しました。臨書に触れる一歩になることを期待しています。

主催 一般社団法人日本書字文化協会

後援 東京都青梅市日本中国友好協会

中国書法学院

蘇州・寒山寺 中国国立南京芸術学院 蘇州呉昌碩研究会

作品募集 平成30年3月1日～3月26日（月）必着

応募資格 全部門とも年齢不問

部門

◆**臨書の部（1）** 用紙は半切ないし八ッ切。課題は高校書道教科書臨書素材として掲載されているものから選んでください。20文字以上。出品票には教科書名、原文を記すこと）

◆**臨書の部（2） 常設課題** 張継作「楓橋夜泊」寒山寺碑文臨書
字体は変換可

月 落 烏 啼 霜 滿 天
江 楓 漁 火 對 愁 眠
姑 蘇 城 外 寒 山 寺
夜 半 鐘 聲 到 客 船

◆**楷書筆写の部** 半紙ないし八ッ切

・ **1字** 次のうちどれか1文字

月 滿 天 楓 漁 火 城

・ **2字** 漁火

・ **3字** 寒山寺

大賞は臨書の部（1、2）から1点



日本 寒山寺

手本 指定課題の部は漢詩・楓橋夜泊の拓本を A3 判に複写したものを、楷書漢字の部の手本（大平恵理揮毫）は A4 判で計 9 枚。手本はいずれも 1 枚当たり A4 判 100 円、A3 判 200 円。希望者は送料 100 円を加えた相当額分の切手を添えて、書文協本部臨書展係りに申し込んでください。

出品方法 ①作品に出品票を貼付する（出品票には出品券を貼付）
②応募総括用紙、応募明細用紙を添付
※①②は書文協ホームページからダウンロードまたは、書文協にご請求。
※出品料をお振込みの上、その受領証またはコピーを応募総括用紙に貼付して下さい。

出品料 臨書の部は 1 点 1,000 円（幼児・小中学生は 700 円）
楷書書写の部 同 700 円（幼児・小中学生は 500 円）
個人出品は一律 1 点 1,296 円

振込先 一般社団法人日本書字文化協会
記号 00130-1 番号 728113

賞 大賞（臨書の部から）、中央審査委員会賞、書文協会長賞、青梅日中友友好協会会長賞 ほか

審査員 加藤東陽（書文協中央審査委員会委員長、東京学芸大名誉教授、日本武道館書写書道審査リーダー）
加藤堆繫（同委員会委員、東京学芸大学教授、文部科学省教科調査官）
大平恵理（日本書字文化協会会長）

結果発表 同 4 月末日、書文協機関紙 5 月号、ホームページ

優秀作品展 同 5 月 23 日（水）～27 日（日）予定
澤乃井ガーデンギャラリー
東京都青梅市沢井 2-770 小澤酒造株式会社
電話 0428-78-8215

作品提出先 〒164-0001 東京都中野区中野 2-11-6
丸由ビル 3 階、書文協本部（29 年 12 月からの移転先）
電話 03-6304-8212 FAX03-6304-8213
書文協ホームページ <http://www.syobunkyo.org>
（電話番号、アドレスは変わりません）

ご挨拶 渡邊啓子 臨書展実行委員長（書文協副会長）



漢字は 3300 年前、古代の中国で生まれ 3 世紀ごろ日本に伝来しました。文字を持たなかった日本民族は、漢字から仮名を生み出し、漢字・仮名交じりの日本語が出来上がったのです。日中はまさに同文の隣国なのです。また、臨書は書写書道の大事な学びです。

日本寒山寺を抱く沢井の地を舞台に、臨書の楽しさを体験してください。開催にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。